

平成27年3月期 第2四半期決算概要

平成26年11月14日

会 社 名 ソニー損害保険株式会社

(URL <http://www.sonysonpo.co.jp/>)

代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 丹羽 淳雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村上 敏也 TEL (03) 5744-0320

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期 (中間期) の業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年 9月中間期	45,752	3.3	3,434	19.6	2,392	29.4
25年 9月中間期	44,279	5.8	2,872	520.0	1,848	669.8

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
26年 9月中間期	5,980	91	—	—
25年 9月中間期	4,620	35	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
26年 9月中間期	149,473	24,161	16.2	60,402	89
26年 3月期	142,714	21,418	15.0	53,546	17

(参考) 自己資本 26年9月中間期 24,161百万円 26年3月期 21,418百万円

2. その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | 無 |
| ④ 修正再表示 | 無 |

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- | | | | | |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|
| ① 期末発行済株式数 | 26年9月中間期 | 400,000株 | 26年3月期 | 400,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年9月中間期 | —株 | 26年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 26年9月中間期 | 400,000株 | 25年9月中間期 | 400,000株 |

1. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	6,912	5,698
有価証券	101,245	110,770
有形固定資産	3,105	3,373
無形固定資産	8,283	8,183
その他資産	18,450	16,157
未収金	12,304	10,254
その他の資産	6,146	5,903
繰延税金資産	4,716	5,289
資産の部合計	142,714	149,473
負債の部		
保険契約準備金	110,741	116,248
支払備金	32,698	33,803
責任準備金	78,043	82,445
その他負債	8,543	6,876
未払法人税等	2,159	1,984
その他の負債	6,384	4,891
退職給付引当金	969	1,066
役員退職慰労引当金	22	28
賞与引当金	918	981
特別法上の準備金	101	112
価格変動準備金	101	112
負債の部合計	121,295	125,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	△ 18,828	△ 16,451
株主資本合計	21,171	23,548
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246	612
評価・換算差額等合計	246	612
純資産の部合計	21,418	24,161
負債及び純資産の部合計	142,714	149,473

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自 至	平成25年4月1日 平成25年9月30日)	(自 至	平成26年4月1日 平成26年9月30日)
経常収益		44,900		46,406
保険引受収益		44,297		45,774
(うち正味収入保険料)		44,279		45,752
(うち積立保険料等運用益)		17		22
資産運用収益		587		617
(うち利息及び配当金収入)		591		626
(うち有価証券売却益)		13		12
(うち積立保険料等運用益振替)	△	17	△	22
その他経常収益		15		14
経常費用		42,028		42,971
保険引受費用		31,794		32,027
(うち正味支払保険金)		23,299		22,420
(うち損害調査費)		3,078		3,397
(うち諸手数料及び集金費)		722		701
(うち支払備金繰入額)		613		1,105
(うち責任準備金繰入額)		4,080		4,401
資産運用費用		1		0
(うち有価証券売却損)		-		0
営業費及び一般管理費		10,228		10,940
その他経常費用		3		3
経常利益		2,872		3,434
特別利益		-		-
特別損失		10		28
固定資産処分損		0		17
特別法上の準備金繰入額		10		11
価格変動準備金繰入額		10		11
税引前中間純利益		2,861		3,406
法人税及び住民税		1,356		1,742
法人税等調整額	△	342	△	728
法人税等合計		1,013		1,014
中間純利益		1,848		2,392

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	20,000	20,000	20,000	△ 20,492	△ 20,492	19,507
当中間期変動額						
中間純利益	—	—	—	1,848	1,848	1,848
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	—	—	1,848	1,848	1,848
当中間期末残高	20,000	20,000	20,000	△ 18,644	△ 18,644	21,355

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	426	426	19,934
当中間期変動額			
中間純利益	—	—	1,848
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	83	83	83
当中間期変動額合計	83	83	1,931
当中間期末残高	509	509	21,865

当中間会計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	20,000	20,000	20,000	△ 18,828	△ 18,828	21,171
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	—	△ 16	△ 16	△ 16
会計方針の変更を反映した 当期首残高	20,000	20,000	20,000	△ 18,844	△ 18,844	21,155
当中間期変動額						
中間純利益	—	—	—	2,392	2,392	2,392
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	—	—	—	—	—	—
当中間期変動額合計	—	—	—	2,392	2,392	2,392
当中間期末残高	20,000	20,000	20,000	△ 16,451	△ 16,451	23,548

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	246	246	21,418
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	△ 16
会計方針の変更を反映した 当期首残高	246	246	21,402
当中間期変動額			
中間純利益	—	—	2,392
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	366	366	366
当中間期変動額合計	366	366	2,758
当中間期末残高	612	612	24,161

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自 至	平成25年4月1日 平成25年9月30日)	(自 至	平成26年4月1日 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前中間純利益 (△は損失)		2,861		3,406
減価償却費		1,001		1,248
支払備金の増減額 (△は減少)		613		1,105
責任準備金の増減額 (△は減少)		4,080		4,401
退職給付引当金の増減額 (△は減少)		51		73
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△	36		5
賞与引当金の増減額 (△は減少)		135		63
価格変動準備金の増減額 (△は減少)		10		11
利息及び配当金収入	△	591	△	626
有価証券関係損益 (△は益)	△	12	△	12
有形固定資産関係損益 (△は益)		0		10
無形固定資産関係損益 (△は益)		-		6
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)		2,088		2,299
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△	1,178	△	1,436
小 計		9,024		10,556
利息及び配当金の受取額		684		719
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)		201	△	1,911
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,909		9,364
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出	△	16,349	△	19,433
有価証券の売却・償還による収入		7,438		10,630
資産運用活動計	△	8,911	△	8,802
営業活動及び資産運用活動計		998		561
有形固定資産の取得による支出	△	815	△	576
その他	△	861	△	918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	10,588	△	10,297
財務活動によるキャッシュ・フロー				
財務活動によるキャッシュ・フロー		-		-
現金及び現金同等物に係る換算差額		-		-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△	678	△	933
現金及び現金同等物の期首残高		8,617		8,017
現金及び現金同等物の中間期末残高		7,939		7,084

2. その他情報

損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

期 別 科 目		前中間会計期間	当中間会計期間	比較増減	増減率
		(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		43,632	45,069	1,437	3.3%
(元受正味保険料)		(43,632)	(45,069)	(1,437)	(3.3)
経 常 損	保 険 引 受 収 益	44,297	45,774	1,477	3.3
	(うち正味収入保険料)	(44,279)	(45,752)	(1,473)	(3.3)
	保 険 引 受 費 用	31,794	32,027	232	0.7
	(うち正味支払保険金)	(23,299)	(22,420)	(△ 878)	(△ 3.8)
	(うち損害調査費)	(3,078)	(3,397)	(319)	(10.4)
	(うち諸手数料及び集金費)	(722)	(701)	(△ 20)	(△ 2.9)
	資 産 運 用 収 益	587	617	29	5.1
	(うち利息及び配当金収入)	(591)	(626)	(34)	(5.9)
	(うち有価証券売却益)	(13)	(12)	(△ 0)	(△ 6.1)
	資 産 運 用 費 用	1	0	△ 0	△ 99.7
(うち有価証券売却損)	(-)	(0)	(0)	(-)	
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		10,228	10,940	711	7.0
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)		(10,184)	(10,902)	(717)	(7.0)
そ の 他 経 常 損 益		12	11	△ 1	△ 12.0
益	経 常 利 益	2,872	3,434	562	19.6
	(保険引受利益)	(2,316)	(2,843)	(527)	(22.8)
特 別 損 益	特 別 利 益	-	-	-	-
	特 別 損 失	10	28	18	173.0
	特 別 損 益	△ 10	△ 28	△ 18	-
税 引 前 中 間 純 利 益		2,861	3,406	544	19.0
法 人 税 及 び 住 民 税		1,356	1,742	385	28.4
法 人 税 等 調 整 額		△ 342	△ 728	△ 385	-
法 人 税 等 合 計		1,013	1,014	0	0.0
中 間 純 利 益		1,848	2,392	544	29.4
諸 比 率	正 味 損 害 率	59.6%	56.4%		
	正 味 事 業 費 率	24.6%	25.4%		

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 諸比率は次の算式によっております。

$$\text{正味損害率} = (\text{正味支払保険金} + \text{損害調査費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

$$\text{正味事業費率} = (\text{諸手数料及び集金費} + \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費}) \div \text{正味収入保険料} \times 100$$

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月 30日)			当中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月 30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		115	0.3	3.5	119	0.3	3.3
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		4,124	9.5	5.9	4,277	9.5	3.7
自 動 車		39,391	90.3	5.6	40,671	90.2	3.2
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		43,632	100.0	5.6	45,069	100.0	3.3

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月 30日)			当中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月 30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		82	0.2	12.4	16	0.0	△ 80.0
海 上		68	0.2	△ 7.0	84	0.2	22.8
傷 害		4,254	9.6	6.1	4,411	9.6	3.7
自 動 車		39,264	88.7	5.7	40,568	88.7	3.3
自動車損害賠償責任		608	1.4	14.3	671	1.5	10.2
合 計		44,279	100.0	5.8	45,752	100.0	3.3

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前中間会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月 30日)			当中間会計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月 30日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		0	1.3	6.4	2	340.6	64.8
海 上		77	△ 45.8	112.1	73	△ 5.0	86.8
傷 害		1,010	7.2	26.8	1,128	11.7	28.6
自 動 車		21,667	0.5	62.7	20,616	△ 4.9	58.8
自動車損害賠償責任		544	11.1	89.4	601	10.4	89.5
合 計		23,299	0.7	59.6	22,420	△ 3.8	56.4

リスク管理債権

該当事項はありません。

有価証券関係

1. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

種 類		前事業年度 (平成26年3月31日)			当中間会計期間 (平成26年9月30日)		
		貸借対照表 計上額	時 価	差 額	中間貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照 表計上額を超え るもの	公 社 債	73,217	77,844	4,626	73,503	79,047	5,543
	外国証券	197	216	18	197	219	22
	小 計	73,414	78,060	4,645	73,701	79,267	5,566
時価が貸借対照 表計上額を超え ないもの	公 社 債	873	869	△ 3	—	—	—
	合 計	74,288	78,930	4,642	73,701	79,267	5,566

2. その他有価証券

(単位：百万円)

種 類		前事業年度 (平成26年3月31日)			当中間会計期間 (平成26年9月30日)		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	公 社 債	19,414	19,341	73	28,965	28,889	76
	株 式	1,016	729	286	1,542	729	812
	小 計	20,430	20,071	359	30,507	29,619	888
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えないもの	公 社 債	5,421	5,425	△ 3	5,176	5,179	△ 3
	そ の 他	1,105	1,105	—	1,385	1,385	—
	小 計	6,526	6,530	△ 3	6,561	6,564	△ 3
合 計	26,957	26,601	356	37,069	36,184	885	

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	30,118	34,429
資本金又は基金等	21,171	23,548
価格変動準備金	101	112
危険準備金	73	77
異常危険準備金	8,451	9,893
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	320	796
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2}+R_5+R_6$	11,416	11,547
一般保険リスク (R ₁)	10,386	10,388
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	-	-
予定利率リスク (R ₃)	77	82
資産運用リスク (R ₄)	662	871
経営管理リスク (R ₅)	353	362
巨大災害リスク (R ₆)	649	751
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	527.6 %	596.3 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条(単体ソルベンシー・マージン)および第87条(単体リスク)ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク)：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く)
 - (第三分野保険の保険リスク)
 - ②予定利率上の危険(予定利率リスク)：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険(資産運用リスク)：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険(経営管理リスク)：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク)：通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(単体ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。